

化学・物理系 先進マテリアル／創薬・分子科学／次世代計測・プロセス

# 共同研究シーズ説明会 2017

日時

12.07 [木] 13:30～17:30

場所

科学博物館 (小金井キャンパス、JR 中央線東小金井駅より徒歩 8 分、駐車場あり)

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16  
<http://web.tuat.ac.jp/~museum/>

参加費

無料

参加ご希望の方は、以下のサイトから登録をお願いします。

<http://www.rd.tuat.ac.jp/NEWS/event/20171207.html>

## Program ——— プログラム

**13:30** 開会挨拶 荻原 勲  
(理事 [学術・研究担当]・副学長)

**13:35** 口頭発表 10 件 (各 12 分、ご質問はポスター会場で発表者にお尋ねください)

A03	前田和之	無機有機ハイブリッドナノシートを基にしたナノ空間構造設計
A11	下村武史	熱を電気に変換する高高い導電性高分子の構造体
A18	嘉治寿彦	真空蒸着中の液体導入による薄膜結晶化と太陽電池応用
B05	山崎 孝	フッ素の導入による効果的な物性変化
B07	米澤宣行・岡本昭子	結晶中のらせん配置を制御する分子構造要因解明とその分子設計実証：芳香環集積分子の設計と空間構造解析
C07	大橋 秀伯	グラフト手法を用いた材料表面の機能化／酵素リサイクル技術
C08	稲澤 晋	反応プロセスを用いた多様なシリコンナノ・マイクロ材料の合成と制御
C11	前橋兼三	グラフェンデバイスをを用いた高感度センサへの応用
C13	生嶋健司	超音波で電気・磁気特性を可視化する ～ヒトからインフラまで～
C14	宮地悟代	ナノサイズの周期構造を形成できるレーザー加工技術

**16:00** ポスター発表 (シーズ 42 件、二部入替制、裏面参照)  
個別相談ブースあり

**17:30** 終了



企業のイノベーションニーズと東京農工大学の研究シーズのマッチングを目的として、「東京農工大学共同研究シーズ説明会」を開催します。最先端の研究シーズを学内の研究者が説明します。技術連携や共同研究の機会としてご活用いただければ幸いです。

## 発表シーズリスト 予定

### 先進マテリアル

A01	村上 尚	ワイドバンドギャップ半導体薄膜成長技術の開発
A02	熊谷 義直	ワイドバンドギャップ半導体としての酸化インジウム結晶の可能性
○ A03	前田 和之	無機有機ハイブリッドナノシートを基にしたナノ空間構造設計
A04	臼井 博明	フォーム状電解質を用いた新規めっき技術
A05	尾崎 弘行	物理吸着系単分子層を利用するナノケーブルの創成
A06	渡辺 敏行	新規炭素系材料を用いた白金代替酸素還元触媒
A07	富永 洋一	Liイオン伝導性に優れた高分子電解質の開発
A08	中野 幸司	新規キラルスピロπ共役化合物の合成と機能
A09	齋藤 守弘	次世代蓄電デバイス材料の共同開発と評価支援
A10	帯刀 陽子	有機導電・磁性材料の開発
○ A11	下村 武史	熱を電気に変換する高高い導電性高分子の構造体
A12	齋藤 拓	ブレンドによる高分子の高性能化
A13	荻野 賢司	特殊構造高分子の合成と機能材料への展開
A14	村上 義彦	ハイブリッド型バイオマテリアルの創製と医療応用
A15	尾池 秀章	環状および分岐状高分子の合成と機能
A16	徳山 英昭	機能性高分子ゲルの開発と反応・分離プロセスの構築
A17	山本 明保	強力磁場を自在にあやつる高温超伝導新材料
○ A18	嘉治 寿彦	真空蒸着中の液体導入による薄膜結晶化と太陽電池応用
A19	香取 浩子	磁性体の保磁力を増強する新たな手法の開拓

### 次世代計測・プロセス

C01	神谷 秀博	微粒子、ナノ粒子の気中、液中付着・凝集挙動の制御とその応用
C02	滝山 博志	微結晶粒子群の連続フロー製造技術の開発と医薬品製造への展開
C03	山下 善之	スマート生産プロセスのためのIoT活用と運転・制御・保守システムへの展開
C04	細見 正明	高圧ジェットを用いた汚泥減量化プロセス
C05	寺田 昭彦	N2Oを還元固定する微生物の探索
C06	桜井 誠	構造体触媒のマイクロリアクターへの応用
○ C07	大橋 秀伯	グラフト手法を用いた材料表面の機能化/酵素リサイクル技術
○ C08	稲澤 晋	反応プロセスを用いた多様なシリコンナノ・マイクロ材料の合成と制御
C09	銭 衛華	新規二機能水素化触媒の創出および植物油からバイオジェット燃料・マテリアルの製造への応用
C10	箕田 弘喜	電子顕微鏡による新しい計測技術の開発
○ C11	前橋 兼三	グラフェンデバイスをを用いた高感度センサへの応用
C12	畠山 温	気体原子の表面過程：精密原子計測での応用
○ C13	生嶋 健司	超音波で電気・磁気特性を可視化する ～ヒトからインフラまで～
○ C14	宮地 悟代	ナノサイズの周期構造を形成できるレーザー加工技術
C15	村山 能宏	光と磁場による微粒子の並進、回転操作 - DNA1分子操作への応用 -

### 創薬・分子科学

B01	大栗 博毅	骨格多様化合成による次世代創薬シーズ創製
B02	森 啓二	スタックドアレーン型有機触媒による医薬品分子合成の効率化
B03	平野 雅文	ヘテロ5員環のC3位選択的置換基導入法による生理活性リード化合物の直截的合成
B04	齊藤 重紀夫	新規ヨウ素系触媒の開発と複素環合成法への応用
○ B05	山崎 孝	フッ素の導入による効果的な物性変化
B06	村岡 貴博	タンパク質安定化剤の開発
○ B07	米澤 宣行・岡本 昭子	結晶中のらせん配置を制御する分子構造要因解明とその分子設計実証：芳香環集積分子の設計と空間構造解析

### その他

D01	跡見 順子・清水 美穂	身心一体科学を基盤とするイノベティブ産官学・市民ヘルスエコシステムの醸成
-----	-------------	--------------------------------------

ポスター発表は、奇数番号が16:00～16:45、偶数番号が16:45～17:30の二部入替制になっています。  
○印は、口頭発表を実施するシーズです。



JR 中央線「東小金井駅 nonowa 口」から徒歩約8分

- 発表者、発表題目は変更することがあります。
- 13:30～17:30は常時受け付けています。
- 会場に個別相談ブースを用意しております。